

茅ヶ崎セントラルクリニック 川野 和雄 (ドライバー・営繕)

功 績 複数ヵ所で起きている雨漏りを止めた功績。
推 薦 者 松本正
推 薦 理 由 興味を持って、なんでも取り組み、なんでも直そうという姿勢でいる事は尊敬に値します。施設管理は重要な役目であり、今回の事例は理事長賞に相応しいと思い推薦いたします。

内 容

川野さんはドライバーとして入職しましたが、機械の知識や道具の扱いなどがとても優れており、営繕としても活躍しています。以前はイヤホンジャックの不具合があった全部のテレビ台を修理して理事長賞を頂きました。今回は屋上からの水漏れと2階線路側通路の壁面より水が染み出してくる事例に対して、また8月になってしまうのですが9日にあった豪雨により水漏れが発生し今回は自動火災警報装置(自火報)の回路に水が入って故障し、廃棄処分になります。自火報の交換に当たって、水漏れが無い状態にしなくてはなりません。屋上から7階の水漏れ時は、屋上・機械室をつぶさに見回り、水漏れの原因箇所の特定に努め、機械室下の外壁にある縁の裏側にあるコンクリートがボロボロになっている事を発見しました。激しい雨の時のみ水漏れすることから、地面からの跳ね返りが激しい時にこのボロボロの縁から水が侵入すると予測し、発泡剤で縁の裏側を固め、周囲を防水材でコーティングしました。その後、7階の雨漏れはありません。2階の水染み出しに対しては線路側の看板が付いている外壁周囲に防水剤をローラーで塗布し、染み出しを防止しました。

自動火災警報装置の故障は消防署に連絡し、いつまでに直しますと報告しなければなりません。うちの消防設備点検会社からは「水漏れがしない状態でないと設置できません」と言われた為、急いで水漏れを防ぐ必要がありました。そこで川野さんは勤務日ではない10日も出勤して、原因究明にあたりました。まずは水漏れ箇所の推測で、7階建てと3階建てのジョイント部が非常に怪しいので、そこをつぶさに見て回りました。水が入りそうな隙間を見つけ、粘土状の修復材でふさぎ、コーキングを施しました。

10日は晴れていたなので、水道から水を引いて流し、水漏れの有無を確かめて施行を進めていきました。コーキング施行後かなり強い雨の日もありましたが、水漏れは一切ございません。